

ID: XXXXXXXXXX
XXXXXXXXXX 様
 性別 XXXX 生年月日 XXXX/XX/XX

処方箋が出されます。治療と処方薬の確認のため薬局窓口でこの説明書を提示してください。

【mFOLFOX6療法】

スケジュール：2週間に1度治療を行います(1サイクル)。

(患者さんによってはスケジュールを変更する場合があります。)

		今回のサイクル														次サイクル																											
		4							5							6							7																				
日付		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
点滴	エルプラット (オキサリプラチン)	✍														✍																											
	レボホリナート (レボホリナート)	✍														✍																											
	フルオロウラシル	✍														✍																											
	フルオロウラシル(持続)	✍✍✍														✍✍✍																											
副作用	過敏症 まれにアナフィラキシーショック	点滴中に発疹、じんましん、息苦しい、唇がはれる、のどが腫れたような感じなどがありましたら、すぐにお知らせ下さい。																																									
	悪心・食欲不振	治療法に対応した吐き気止めを使用しますが、治療日から数日間、むかつきや食欲不振が起こることがあります。個人差が大きいため、食事や水分が摂れない時にはお知らせください。																																									
	倦怠感	治療日の翌日以降に疲労感やだるさを感じる場合があります。無理をせずできるだけ休養するようにしてください。																																									
	口内炎	抗がん剤の代謝物が口腔粘膜から出てくることがあり、口内炎の原因となります。点滴後3～4日は水で頻回にうがいをし口の中を清潔に保ちましょう。(冷たい水は避けてください)																																									
	骨髄抑制	点滴後10～14日頃が白血球や血小板の数が一番少なくなることが予想されます。この時期は手洗い・うがいをして感染症にかからないよう心がけ、ケガや転倒に気をつけましょう。																																									
	皮膚障害・手足症候群	手足や指先、足底に炎症が出る場合があります。予防は保湿剤をこまめに使用することです。湿疹や強い痛みがあるときはお知らせください。																																									
	末梢神経障害	感覚や運動の麻痺、手足のしびれ、手足の痛みなどを感じる場合があります。投与回数が増えると増強する傾向があります。症状が強くなるので点滴から4日間は冷たい食べ物や飲み物を避け、冷気や冷たい物に触れないようにしましょう。																																									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火

備考 涙の中に治療薬が出てくることがあります。涙が増えて視界がかすむ、涙がこぼれるなどの症状が出ましたら診察時にお知らせください。可能なら薬局で人工涙液(サンティア)を購入し、1日6-10回程度点眼してください。症状が治まらない場合は眼科を受診してください。過敏症・末梢神経障害は総投与量が多くなると出やすくなります。副作用の出方には個人差があります。症状を軽減する治療を行っても、副作用が強くなる場合には、投与日を延期したり、抗がん剤を減量したり、治療法を変更する場合があります。また、上の表以外の副作用が出ることもあります。副作用は不快なものですが、対処の仕方、気持ちの持ち方によって感じ方は大きく異なります。患者さんご自身で工夫をするとともに、辛いこと、困ったこと等ありましたら、医療者(医師・看護師・薬剤師)にご相談ください。


 千葉県がんセンター 薬剤部
 千葉市中央区仁戸名町666-2
 CHIBA CANCER CENTER TEL: (代)043-264-5431